

2025年9月期 決算説明資料

株式会社キャリア (証券コード: 6198)



CAREER

いくつになってもイキイキ暮らせる社会を

01 | 2025年9月期 決算概要

02 | 市場環境

03 | 成長戦略

04 | 2026年9月期 業績予想

05 | Appendix

下期で営業損益の赤字幅が縮小も、繰延税金資産の取崩し等の影響で最終損益は△150百万円と赤字拡大

売上高

14,935 百万円

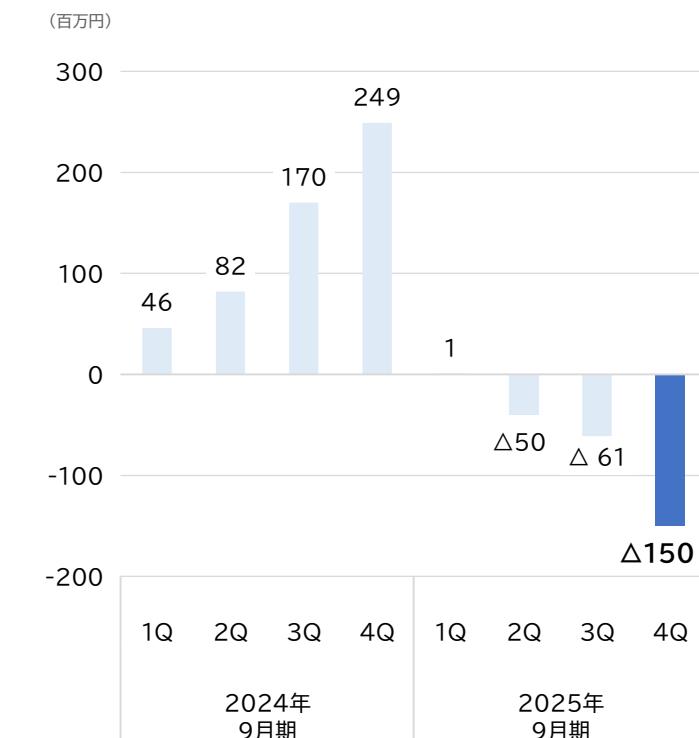
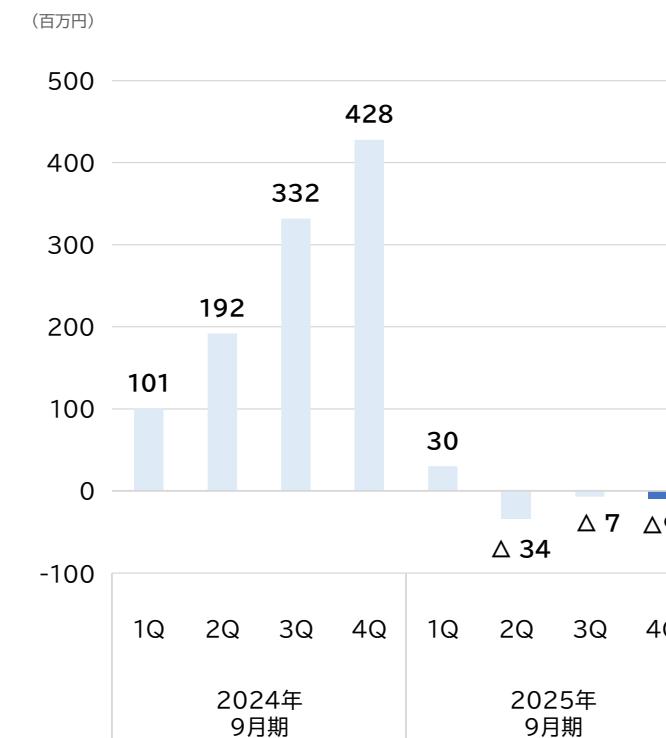
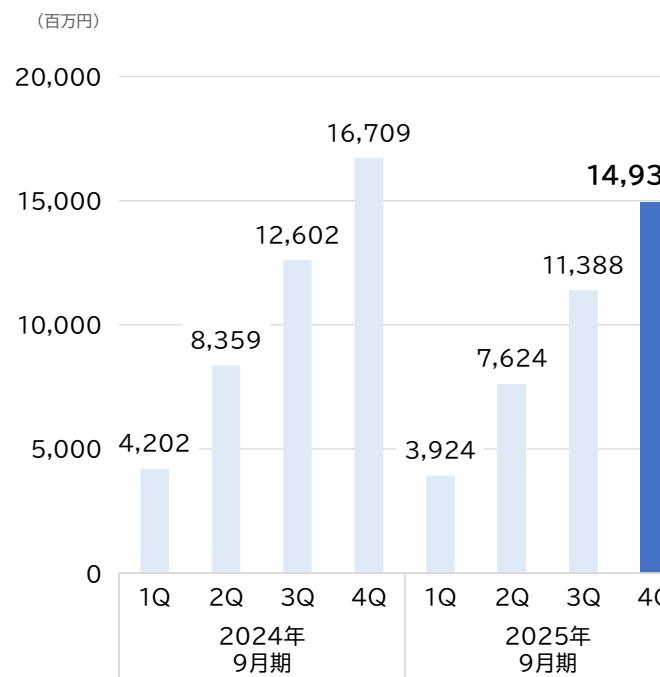
前年同期比 89.6 %

営業利益

△9 百万円

親会社株主に
帰属する当期純利益

△150 百万円



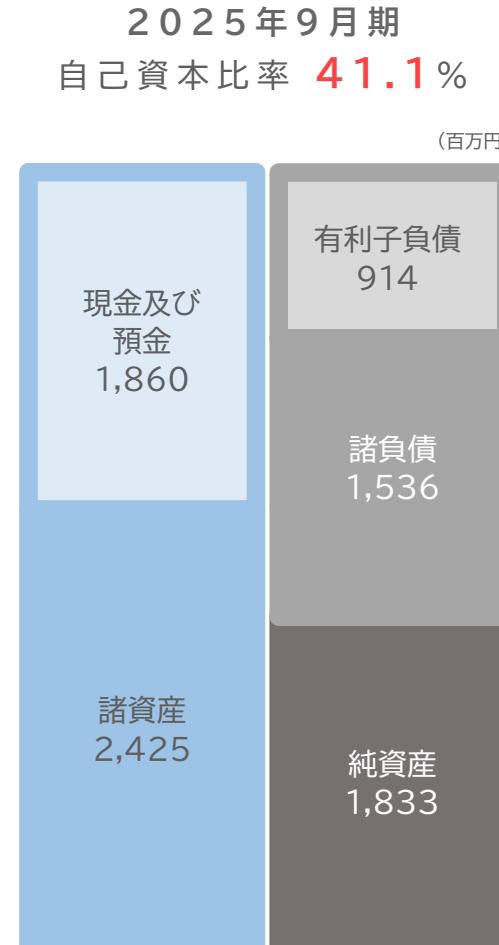
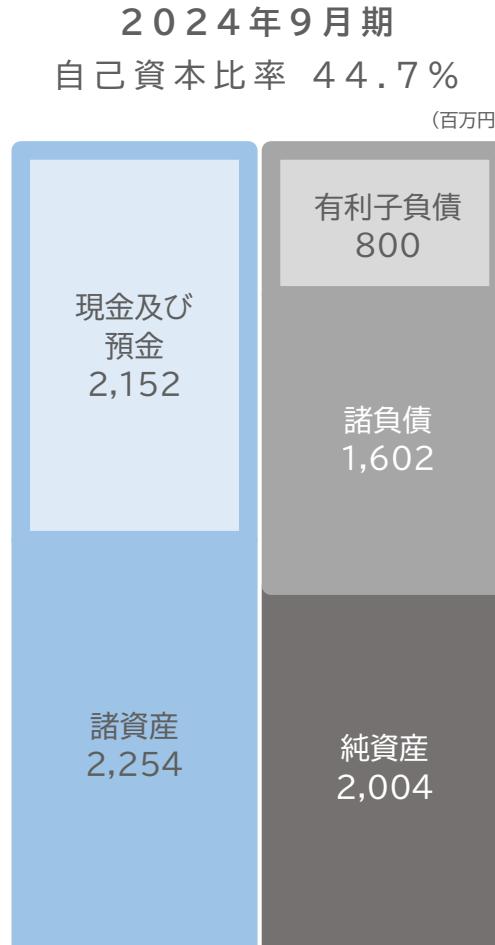
下期以降、事業収益面では改善施策の効果が出始めたものの、来期の先行投資やその他損失^(※)までは吸収しきれず

(百万円)

	2024年9月期	2025年9月期			
	実績	実績	前期比(%)	修正業績予想 (2025/6/26公表)	達成率(%)
売 上 高	16,709	14,935	89.4%	15,660	95.4%
シニアケア	14,144	12,622	89.2%	—	—
シニアワーク	2,565	2,313	90.2%	—	—
営 業 利 益	428	△9	—	80	—
経 常 利 益	399	△22	—	55	—
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	249	△150	—	5	—
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	29.37円	△17.66円		0.59円	

- ☞看護師や介護士等の派遣・紹介ニーズは継続して高水準で推移しているものの、営業基盤の再構築中で刈り取り不足
- ☞リスクリキング関連の業務フロー見直しやDX推進含むIT投資、新規事業の研究開発費等で4Qは一時的に販管費が増加
- ☞加えて、営業基盤の再構築に伴う減損損失、並びに繰延税金資産の一部取崩し^(※)が利益を一層押し下げる要因に
- ☞行政処分が業績に与えた影響はごく限定的

自己資本比率は41.1%と前期より3.6%減少



- ✓ 自己資本比率 3.6 pt減少
⇒有利子負債の増加 114百万円
ウェルネスキャリアサポート 第2farm
- ✓ 純資産 171百万円減少
⇒当期純損失 150百万円
⇒自己株式の取得 4百万円

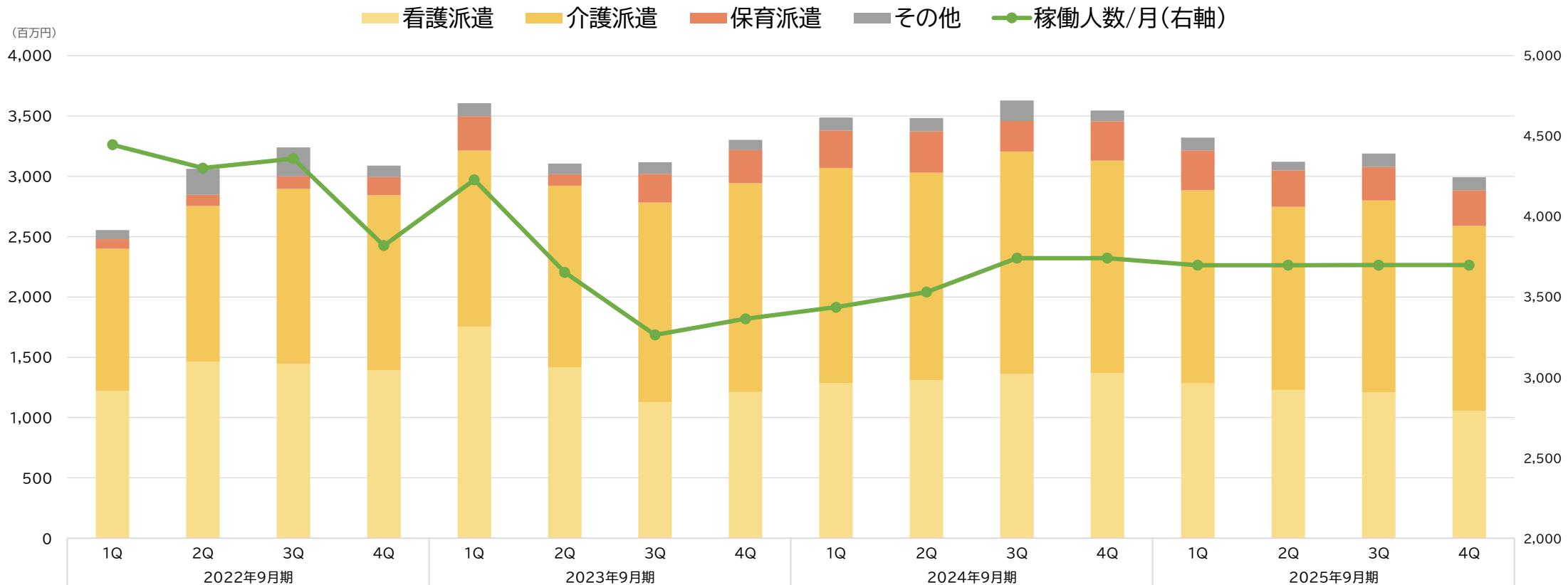
2025年9月期4Q 売上高:12,622百万円（前期実績14,144百万円:前期比89.2%）

介護報酬改定による訪問介護事業所の基本報酬引き下げの影響から、価格転嫁要請の厳しい状況は継続
4Q以降は子会社の合併により、営業体制の強化を図る



看護派遣事業は増減率(対4Q)▲22.9%、保育派遣事業は増減率(対4Q)▲9.6%

看護派遣事業の需要は引き続き根強いが、売上高は前年同期比で減少
広告施策の効果的な運用や営業体制の強化により上昇を図る



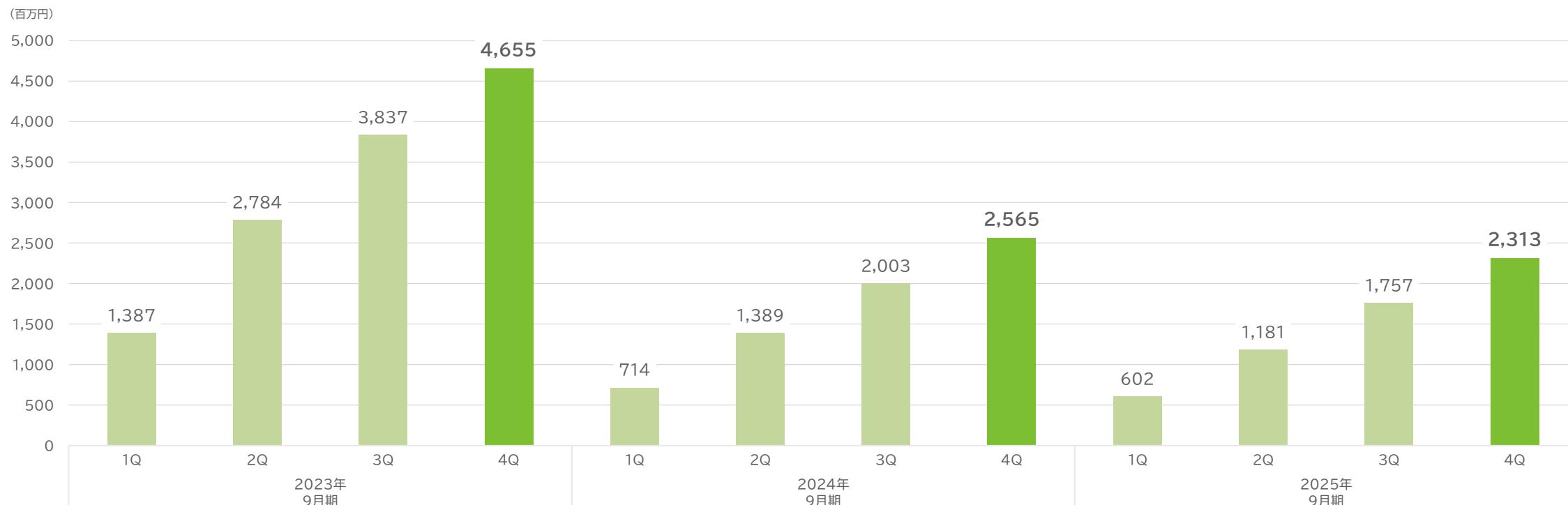
2025年9月期4Q 売上高:2,313百万円（前期実績2,565百万円:前期比90.2%）

主要売上の国内のコールセンターサービス市場規模は減少傾向

単価交渉を行うことにより収益性を向上させつつ

好調なブルーカラー職種派遣へ人的リソースを投入し上昇を図る

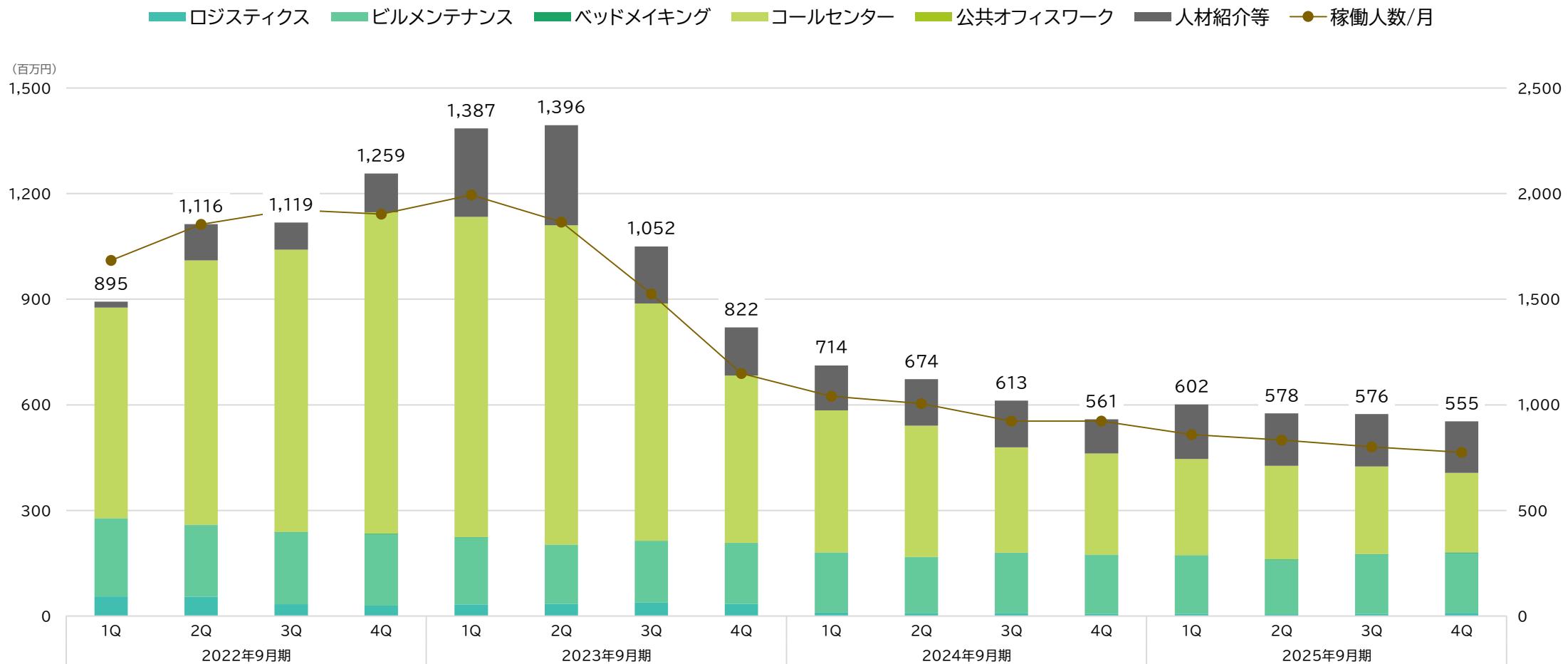
売上高



※出展：株式会社矢野経済研究所「コールセンターサービス市場/コンタクトセンターソリューション市場の調査を実施（2024年）」

コールセンターの新規案件獲得に苦戦

主力のコールセンターの売上高の増減率(対4Q)が▲21.4%



2025年9月期の業績は減収減益。将来成長に向けた投資を積極的に実施。

外部環境



市 場

- ✓ 人手不足の深刻化により、人材派遣の需要が高まっている状況。特に、ITエンジニアなどIT関連職種や看護職、介護職、保育職の需要が高い※
- ✓ シニア世代を中心にコールセンター派遣やビルメンテナンス派遣は需要拡大



業 績

- ✓ 2025年9月期の売上高・利益は減収減益。コールセンター派遣リソースの活用によるBPO事業へのシフトを図ったものの予想を大きく下回る結果で着地
- ✓ 将来成長に向けた広告宣伝費の積極的投下による販管費の増加

取り組みと
実績

事 業

- ✓ 介護業界への転職者数1,000名(紹介者数No.1)を目標とする支援事業を開始
- ✓ 株式会社ウェルネスキャリアサポート ウェルネスMirai Farm & Office 品川稼働開始



全 社

- ✓ 営業利益率を高めるため、生産性向上を目的とした社内におけるDX化を推進中
- ✓ 株主還元の観点から自己株式の取得を開始

01 | 2025年9月期 決算概要

02 | 市場環境

03 | 成長戦略

04 | 2026年9月期 業績予想

05 | Appendix

深刻な人手不足の解消の対応策

2030年、 人手不足は**644**万人に広がる

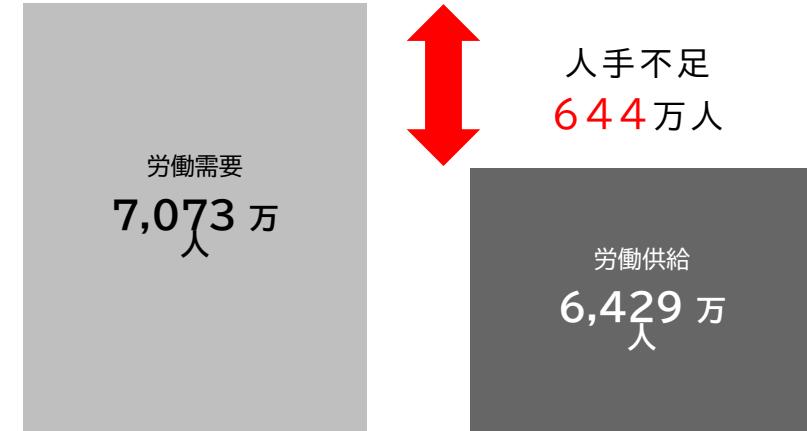
「2024年問題」※1がスタート、直近では「2025年問題」※2が控えており、人材確保が、今まで以上に企業にとって最重要課題となっている

644万人の人手不足を埋めるための労働供給方法

- ・アクティブシニアの労働力の増加
- ・女性の労働力を増加
- ・外国人の労働力の増加

キャリアの強み＝アクティブシニア領域

2030年予想



人手不足倒産推移



※1 2024年4月1日以降、建設、運輸、医療に対して例外的に認められていた時間外労働の上限規制の猶予が終了することから発生する諸問題

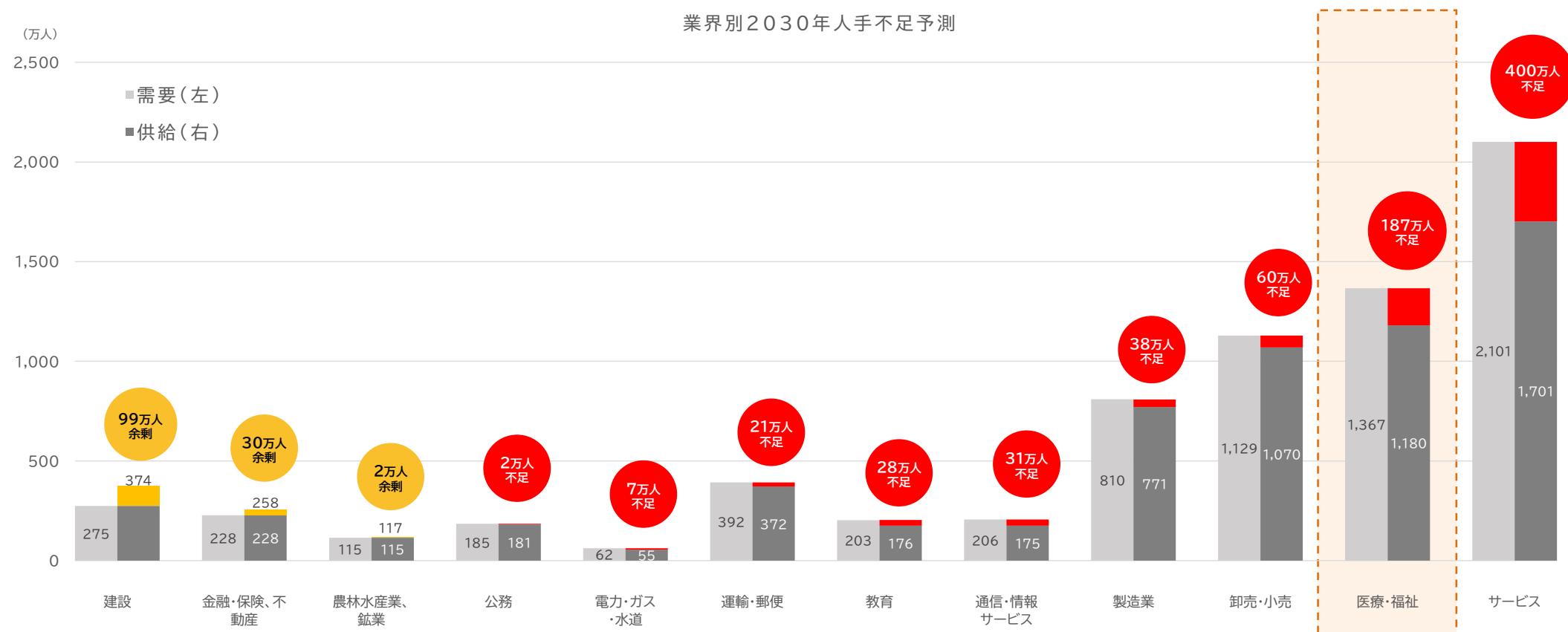
※2 日本の人口の年齢別比率が劇的に変化して「超高齢化社会」となり、社会構造や体制が大きな分岐点を迎え、雇用、医療、福祉など、さまざまな分野に影響を与えることが予想されること

※3 出展：パーソル総合研究所×中央大学「労働市場の未来推計 2030」

現在日本では人材関連の需要と供給のバランスが大きく崩れている

サービス業は離職率が高いこともあり、約400万人と大きな人手不足が見込まれる

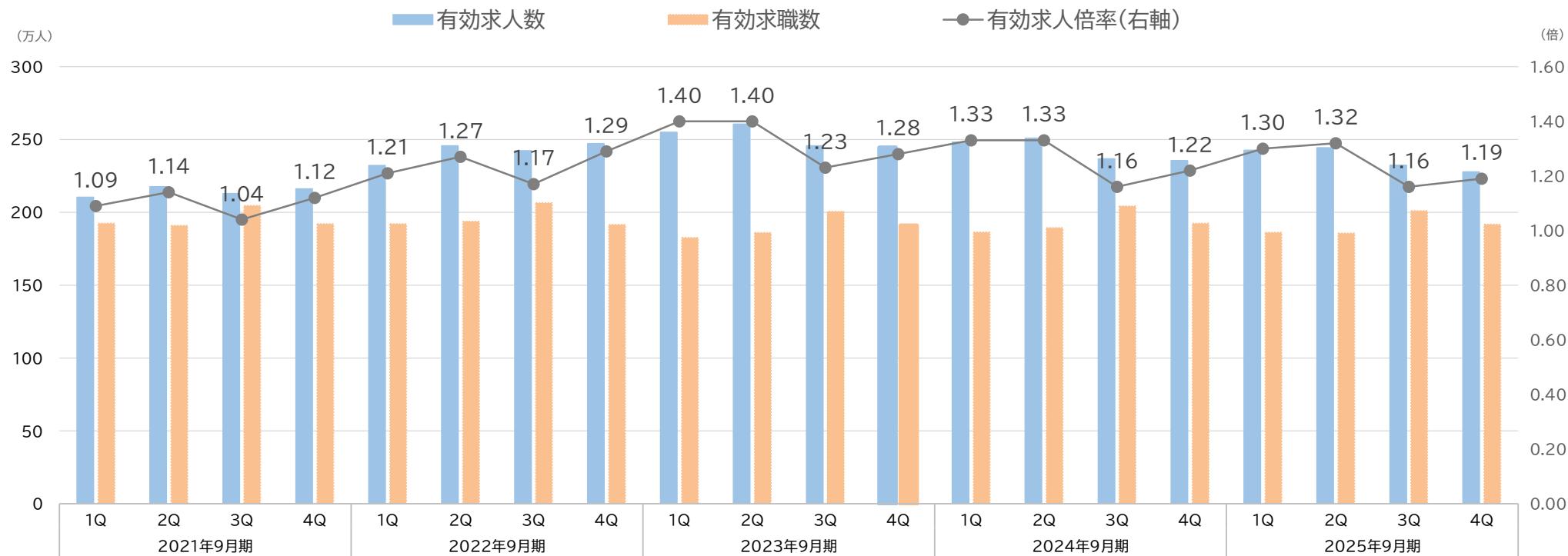
当社のシニアケア事業における領域である医療・福祉も、サービス業に次いで人手不足に苦しみ、約187万人にのぼる



※1 出展：出展：パーソル総合研究所×中央大学「労働市場の未来推計 2030」

2025年7月～9月の3カ月平均の有効求人倍率は1.19倍で、直近3カ月平均は0.03ポイント上昇

人手不足の状況は続くものの、原材料、光熱費の高騰により、企業は採用に慎重



※1 総務省統計局「労働力調査」を元に株式会社キャリアにて作成

※2 厚生労働省「労働者派遣事業報告書」を元に株式会社キャリアにて作成

01 | 2025年9月期 決算概要

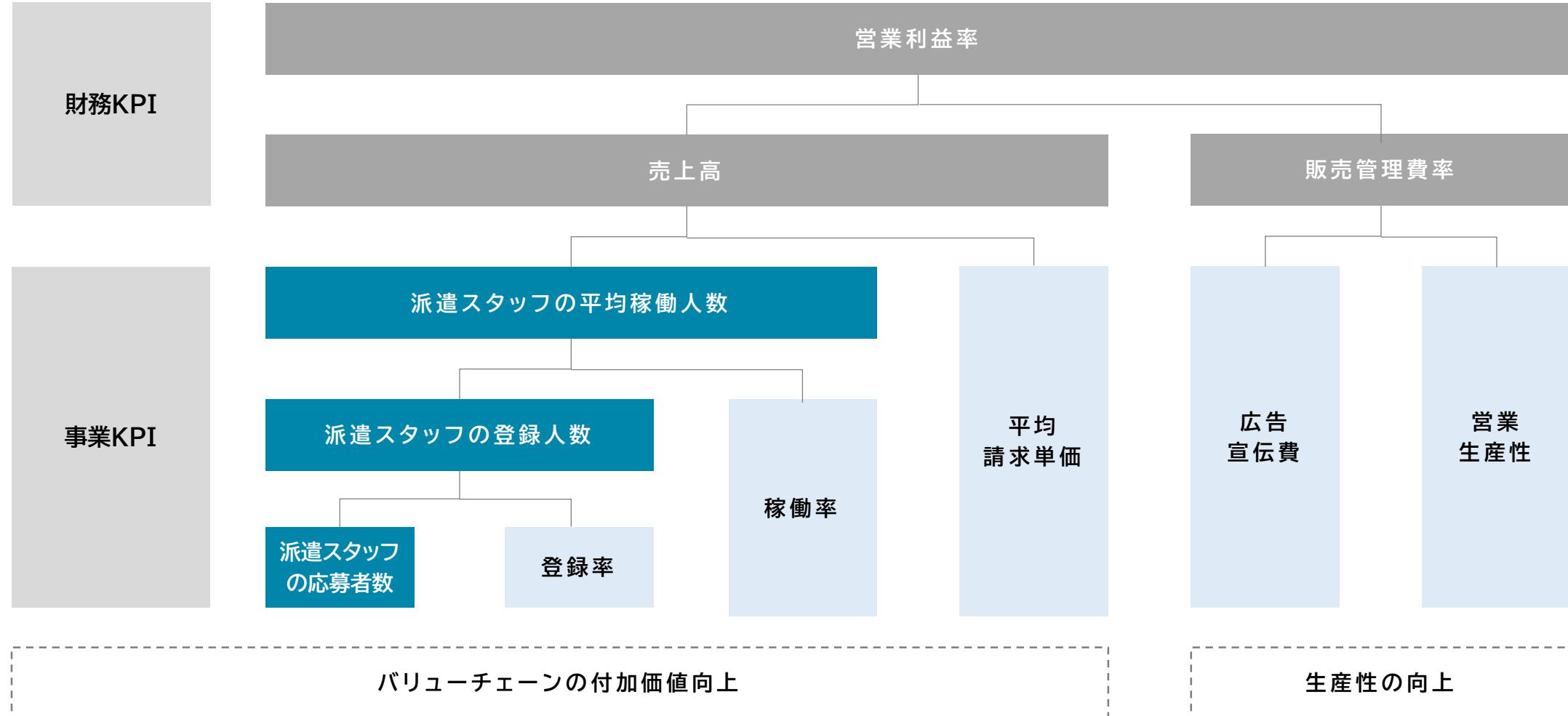
02 | 市場環境

03 | 成長戦略

04 | 2026年9月期 業績予想

05 | Appendix

Careerの人材派遣事業における財務KPIと事業KPIの構造



リスクリング※1を通して、医療・福祉の人手不足という社会問題を解決



キャリア相談、リスクリング、
転職まで一貫してサポート

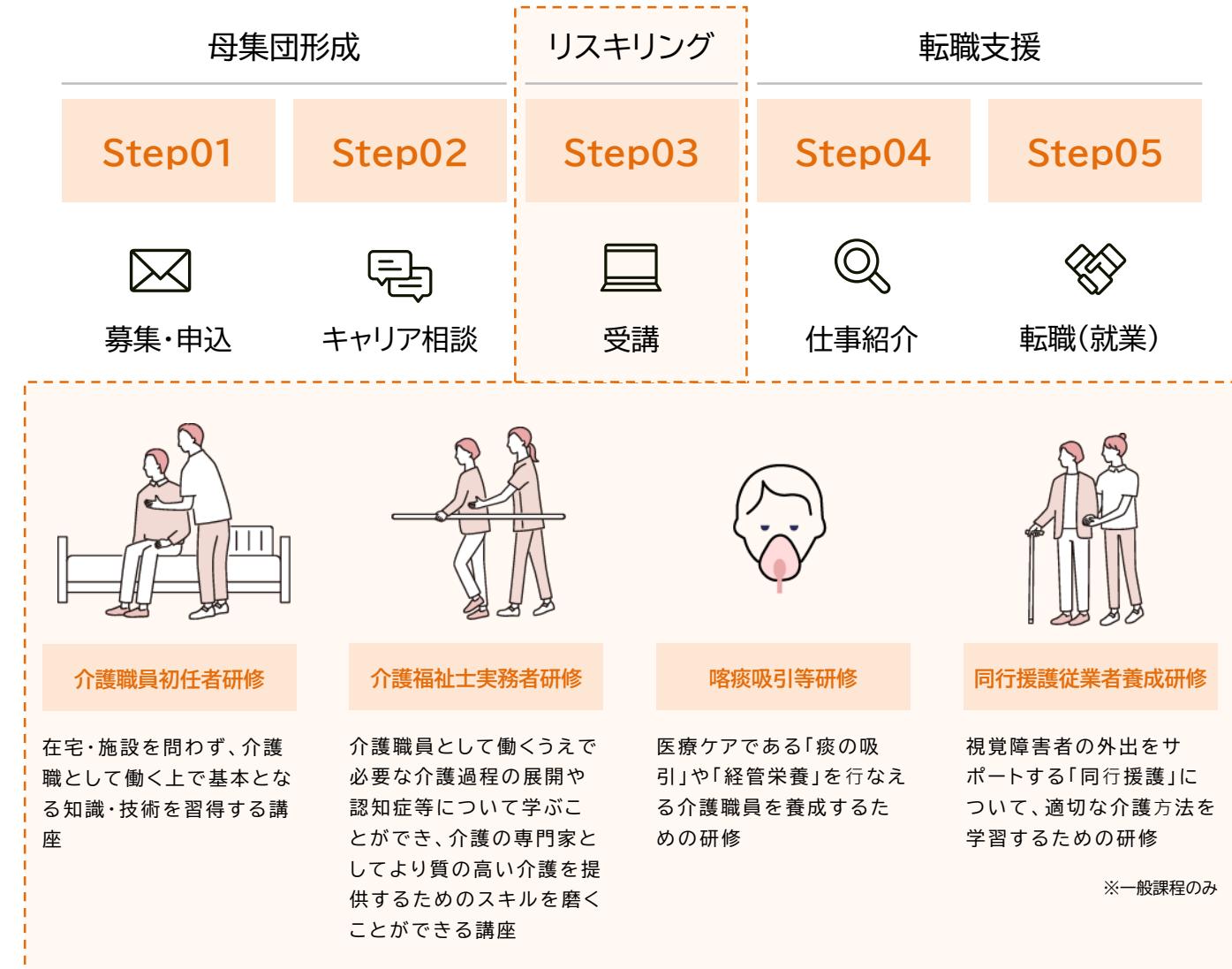
介護職に特化した全国最大規模の
資格取得・転職支援サービス



受講料の**最大全額**を
受講者に還元※2

※1 社会環境や働く環境の変化にあわせて今後、仕事に必要とされるスキルを習得する行為
※2 講座終了後50%キャッシュバック

（※追加的に講座の受講費用の1/5相当額（上限16万円）
上記を含め、指定の条件を満たした方、残り全額を株式会社キャリアからキャッシュバック



第1Farmに続き、第2Farmを新設。さらなる增收増益の柱に。

野菜の提供を通じた福利厚生の充実から

SDGs・ダイバーシティ推進

第2Farm 2027年9月期

満床60ユニット達成を目指す



〈2026年9月期〉 40ユニット達成

売上高:183百万円

売上総利益:48百万円

〈2027年9月期〉 満床達成

売上高:303百万円

売上総利益:124百万円

21年10月開設
24年4月満床

ウェルネス Mirai Farm 品川 office

第1Farm

ウェルネス Mirai Farm TOKYO隅田

- ・2021年10月稼働開始
- ・完全屋内型植物工場
- ・34ユニット、就労可能人数100人

24年10月プレ開設
先行4件 申込済



第2Farm

ウェルネス Mirai Farm & Office 品川 (仮)

- ・2024年10月プレ稼働開始
- ・完全屋内型植物工場+ワークオフィス
- ・60ユニット、就労可能人数180人

※ウェルネス Mirai Farm & Office 品川 (仮)は本格稼働後、ウェルネス Mirai Farm 品川 officeと名称を変更しております。

01 | 2025年9月期 決算概要

02 | 市場環境

03 | 成長戦略

04 | 2026年9月期 業績予想

05 | Appendix

来期は增收計画も収益構造のアップデート完了を下期に見込んでいるため、通期での利益貢献はFY27以降を想定

	2025年9月期	2026年9月期			(百万円)
		実績(A)	業績予想(B)	増減額(B-A)	
売 上 高	14,935	16,360	1,425	1,425	109.5%
営 業 利 益	△9	40	49	49	—
経 常 利 益	△22	20	42	42	—
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	△150	△10	140	140	—
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	△17.66円	—			

- ➡支社・支店体制など営業基盤の再構築を早期に完了させるとともに、業務フローの見直しやDX推進を実施する過程で売上・利益両面での最大化を目指す
- ➡また、FY25で実施したグループ再編により、ブランドの集約や管理コストの削減により利益率向上効果を見込む
- ➡しかしながら、本格的な利益貢献は4Qを計画していることから、FY26では税金費用までは吸収できない見込み
- ➡なお、コンプライアンス体制についてはFY25までに整備が完了しており、今後も継続的な強化に取組んでいく方針

01 | 2025年9月期 決算概要

02 | 市場環境

03 | 成長戦略

04 | 2026年9月期 業績予想

05 | Appendix

会社情報

経営陣※2

財務指標

設立	2009年	代表取締役会長兼社長 川嶋 一郎	売上高※3 149億円
従業員数※1	295名 株式会社キャリア: 279名 連結子会社: 16名	取締役 竹上 雅彦 社外取締役 池田 優太郎 社外取締役(監査等委員) 岩見 和磨 社外取締役(監査等委員) 館 充保 社外取締役(監査等委員) 山本 和成	蒲原 翔太 営業利益※3 △9百万円 売上高CAGR※4 4.8%

※1: 2025年9月30日実績(臨時雇用者は含まない)

※2: 2025年9月30日現在

※3: 2025年9月期実績

※4: 2019年9月期から2025年9月期の年平均成長率



MISSION

“ 目指す世界 ”

いくつになってもイキイキ暮らせる社会を

VISION

“ 実現する事 ”

高齢化社会をアップデート

VALUE

“ 大切にする価値観 ”

自分らしく 変化を楽しむ

成長と当事者意識 ビジネスの力で社会貢献

我々はあらゆる判断、行動において企業理念を大切にし、
ステークホルダーの皆様と共に社会貢献して参ります。

年々加速する高齢化社会を見据え、高齢化社会型人材サービスを創造

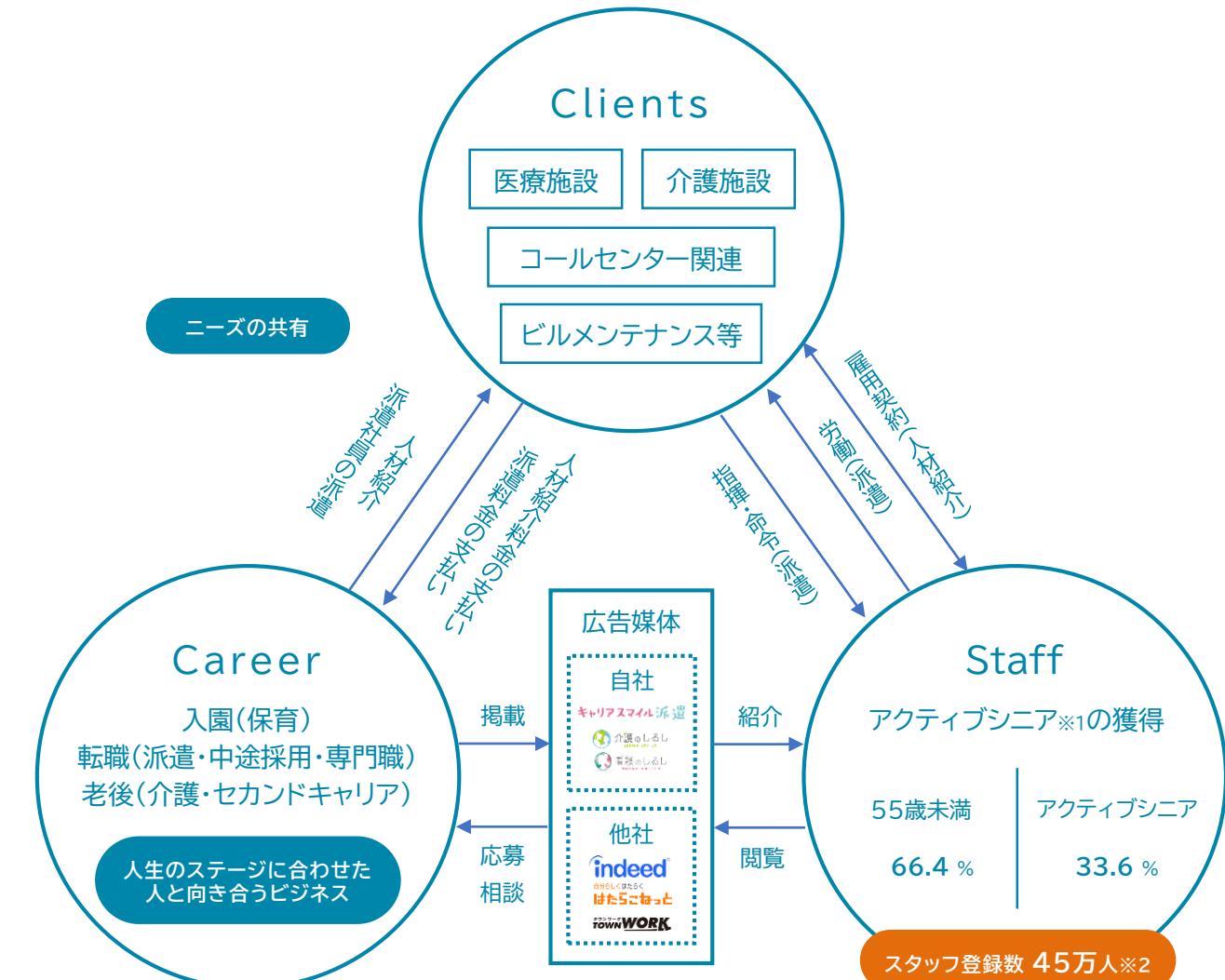
労働人口の減少、
医療・介護市場の人材不足、
人材サービスで課題解決。

**Employment opportunities
for the elderly**

シニアと親和性の高い当社のクライアントを
拡充することで、シニア就業機会を創出

Solving labor shortage

COVID-19などのパンデミックのような突発的な
医療・介護人材の不足発生時においても、社会的使
命をもって対応できる体制を構築

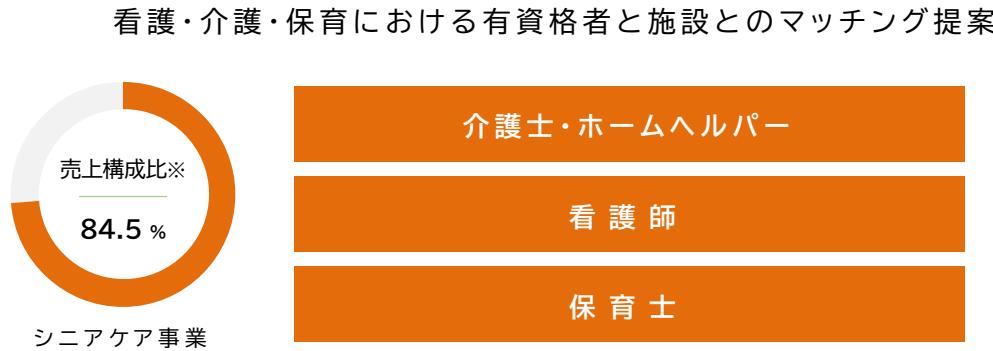


※1 当社では、55歳以上の働く意欲のある人を「アクティブシニア」と定義している

※2 2025年9月30日現在

エッセンシャルワーカー派遣業界トップクラスの実績(介護・看護)

日本では高齢化社会が進行しており、人材市場においては、労働人口の減少、介護市場での人手不足は大きな課題
 「Career」は、2つの課題に人材サービスで応える**高齢化社会型人材サービス企業**



※2025年9月期実績

将来の見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

お問い合わせ先

株式会社キャリア IR担当

E-mail

ir@careergift.co.jp

IRサイト

<https://www.careergift.co.jp/ir/>